

大阪に住まう・暮らす・楽しむをお手伝い 住まいのガイドブック

おんしゅ

volume

91

2022年夏号

《特集》

都市を物語る建物

大阪市地域魅力創出建築物修景事業

大阪くらしの今昔館 news

[特別展]

商都大坂の豪商・加島屋 あきない 町家 くらし

竹と鶏 - 廣岡浅子ゆかりの美術品 -

トピックス/大阪市立住まい情報センター事業紹介
住まいに関するお悩みや疑問はありませんか？

大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

〈今月の表紙〉 天満屋ビル(港区)

人と住まいを結ぶ情報発信基地

大阪市立 住まい情報センター



特集 都市を物語る建物

大阪市地域魅力創出建築物修景事業

まちの魅力をかたちづくる建築物が、大阪市内には数多くあります。伝統的な町家や長屋、レトロなビルなど、ふと目に留まる個性的で魅力ある建築物たち。生き生きと存在する建築物は、まちの歴史や記憶を伝える担い手にもなっています。魅力ある建築物を未来へとつなぐ取り組みに携わった2組のオーナーを訪ねました。

天満屋ビル

まちと人を見守り続けるたくましいビル

大阪市港区、大阪メトロ大阪港駅から海遊館からも歩いて数分。みなと通り沿いに、カーブと直線を組み合わせた美しいデザインの天満屋ビルが現れる。昭和10年に完成し、戦争も度重なる水害も乗り越え、このまちを見守り続けてきた。築港のシンボルの存在として、まちの歴史を今に伝える。天満屋ビルに、現オーナーの清水融さんと、建築士の村上晃一さんを訪ねた。

天満屋ビルは、港運業を営む「天満屋廻漕店」の社屋として清水さんの伯父・潤一さんが建てた。建設は村上さんの父・徹一さんだ。当時の築港は、大阪の海の玄関口であり、大勢の船客、大量の貨物の取り扱いで

繁忙を極めていた。第2次世界大戦では焼夷弾が天満屋ビルの上に落ちたが、幸い火がまわらず、ビルは生きのびた。清水さんは大空襲で周囲がほとんど焼け野原になって、焼け出された人たちがこのビルに避難してこられたと聞いていた。

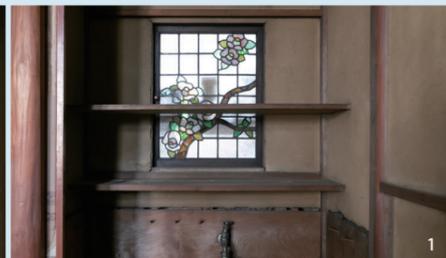
度重なる台風被害を受けてきた地域でもあり、戦後に行われた盛り土工事により、地域全体が2mほど嵩上げされた。天満屋ビルの1階だった部分はほぼ埋まってしまい、今は半地下のように少し顔をのぞかせている。現在のエントランスは、かつて2階だったところだ。柵から下を覗くと、嵩上げ前の地面の高さがわかる。5.再現したスクラッチタイル(左)と、建設当時に使われたタイル(右)。「注文してから完成まで2ヶ月ほどかかった」と村上さん。カーブの部分に使うため、ほんの少し丸みがついている。

昭和40年(1965年)頃、天満屋ビルはテナント貸しを始めることになった。ビルを建てた伯父に代わり管理を担うことになった清水さんは、徹一さんの仕事を継いだ村上さんに整備を依頼。その後は、船の修理をする会社、検疫会社などが入居した。「3階は見晴らしがよく、人氣があった」と清水さんはいふ。現在3階に入るのは株「REPROLAND」。ヴァインテージランタンとビルの佇まいが調和することが、入居の決め手となったという。ビルが

放つ魅力の虜になって店を構えたのは、2階のカフェ、ハアハア HayashiRice & JewelryCrafts。イベントの企画なども手がけ、開店から20年を迎えた今もこのまちに欠かせない存在となっている。焼夷弾にも台風にも耐えた頑丈なビ

ルだが数年前、3階の屋上部分にタイルの剥落が見つかった。清水さんと村上さんは、ちょうどそのタイミングで大阪市の修景事業を知り、補助を得て修繕することができたという。特にこだわったのは外壁のタイルの貼替え。スクラッチタイルという表面に細い溝のあるタイルで、独特の風合いがある。愛知県業者に建設当時のタイルを再現してもらい使用した。

まちの人はもちろん、研究者などからも注目される天満屋ビル。清水さんは取材などを受ける中で、「興味を持ってもらえて先代も喜んでる」と感じている。今後について聞くと、「地震や高潮はとも心配。だけど頑丈に建ててもらったので、昭和の香りを大切に保ちたい」と語った。



1.3階の茶室に続く和室にはステンドグラスが、1階にも異なるデザインのステンドグラスが残る。2.「知足庵」と名付けられた3階の茶室の内露地にて。清水融さん(左)と村上晃一さん(右)。村上さんは「格子の素材選びなど細部までこだわっている」と解説してくれた。3.清水さんは1年半ほど天満屋ビルで暮らしたことがある。写真は応接間でおやつを食べたことなど思い入れのある場所の一つ。4.右奥が正面入口の階段。その下がかつての1階。柵から下を覗き込むと嵩上げ前の地面の高さがわかる。5.再現したスクラッチタイル(左)と、建設当時に使われたタイル(右)。「注文してから完成まで2ヶ月ほどかかった」と村上さん。カーブの部分に使うため、ほんの少し丸みがついている。



6.正面左側の角はカーブがついたデザイン。大きな窓も目を引く。7.ハアハア HayashiRice & JewelryCraftsの神木慧仁さん。8.入口の階段脇に建つ看板。地域の景観を特徴づける重要な役割を担うビルとして、平成23年(2011年)、大阪市都市景観資源に登録された。9.当初3階には会議室があった。埋め込み型の暖炉が設えられ、今は使えないがその姿は残されている。10.3階の(株)REPROLAND。オールドコールマンのランタン、ランプの販売、メンテナンスを手がけている。写真9の暖炉と同位置を撮影。

名称:天満屋ビル(てんまやびる)
所在地:港区海岸通
建築年:昭和10年(1935年)
構造:鉄筋コンクリート造
規模:3階建て(一部地下)
修景概要:外壁の洗ひ、タイルの貼替え、柵の取替え等

新型コロナウイルス感染防止に配慮した上でマスクを外して撮影しています。あんじゅはウェブサイトでもご覧いただけます。



名称:山野家住宅(やまのけじゅうたく)
所在地:北区西天満
建築年:大正7年(1918年)
構造:木造
規模:地上2階建て
修景概要:庇の歪み改善、瓦・銅板の葺き替え、外壁補修等

1.山野康博さん(右)、以知子さん(左)。隣接するマンションの玄関には、借家だった頃に敷かれていた石畳を移設した。2.山野さんが書斎として使っていた部屋。床はモザイク風の寄せ木の板張り。かつては窓際に机を置いていた。3.下半分に網代が施された扉。戸棚や鴨居、床の間など細かいところまでこだわりが詰まっている。4.玄関の格子戸の内側には蛇腹式の門扉が設置されている。5『ちいさいおうち』(バージニア・リー・パートン文・絵、石井桃子訳、岩波書店) 6.上が大屋根、そのすぐ下にある屋根(下屋)、塀の上部とすべて異なる瓦を使っている。修繕では2階庇の歪みを直し、傷んだ瓦を葺き替えた。7.真鍮の手すりは落下の危険があり撤去されていた。これは昨年の修繕の際に、古い写真や山野さんの記憶から再現したもの。

夏には天神祭の陸渡御の行列が目の前を通る。大阪北区西天満の一角に山野家住宅はある。明治42年(1909年)に起きた「北の大火」で、造り酒屋を営んでいた山野家は母屋と隣接する借家を焼失。現オーナー・山野康博さんの祖父は、焼



正面にはぐっと見上げるほど高い塀が。玄関の格子戸と比べるとその高さがわかる。

山野家住宅 生家を住み継ぐという恩返し

け出された住人のため、自宅よりも先に借家を再建したそうだ。その後、大正7年(1918年)に山野家の母屋を再建した。

大火の後に近隣に建てられた町家は、そのほとんどが解体されてしまった。「立派な梁のある蔵を見せてもらったこともある。すごくもったいないですね」と、山野さんは惜しむ。いまま建築当初の姿を残す山野家住宅は、文化や歴史を伝える貴重な存在となっている。

通りに面して高い塀が設けられ、同じ塀が隣接するマンションとの景観をつないでいる。このマンションは借家を解体してその敷地に建てたものだ。当初、山野さんは、母屋の解体も考えたが、生まれ育った場所への思い入れが強くあり残すことにした。3人の息子さんも全員がこの家は残すという思いを持っているという。

「長男が3、4歳の頃、突然『この家は絶対売らない』って言ったことがあって」と、山野さんの妻・以知さんは話す。「売らない」と言った息子さんは、その後建築を学び、いつかまたここで暮らしたいと考えている。ある時、以知さんは、絵本

『ちいさいおうち』(バージニア・リー・パートン文・絵、石井桃子訳、岩波書店)と山野家の母屋をめぐる物語が重なることに気づいた。「壊れても直しながら、この絵本のように、孫の孫の孫が家を残していくかもしれない」と微笑む。

令和3年(2021年)には大阪市の修景事業で外観の修繕を行った。現在は、南側の大屋根や軒などの修繕を進めており、今後は2階の客間も畳の入れ替えなどを行う予定だ。「専門家も大工さんからもこんなに凝った民家はないと言われた」ほど、細部までこだわりが詰まっている。山野さんはその思いを引き継いで、修繕には建設時と同じ素材を使いたいと、探す手間を惜しまない。

「この家は隙間風で冬は寒いし、使にくい部分もある。残すために日々の生活が不便になりすぎるのはナンセンス」と言いつつも、「いいものを残したい。自分の生家がきれいになっていくのは楽しいですよ」と山野さん。手をかけて修繕をする理由について、山野さんは「この家があったから、私がいる。恩返しですね」と語った。今後は、まちに開く機会も作っていききたいと考えている。

大阪のまちの個性を生かした修景事業

まちなみの修景という、一般的には地域全体を対象として景観計画を立てることから始まります。色や高さを揃える、歴史的にある時代・ある様式を基準にした修復を。ところが、大阪市の修景事業ではまちに点在する建物を対象としている。大阪のまちの魅力が、多様な時代・多様な様式の建築物が個性を訴えかけてくることにあり、それを活かす制度だと感じます。個々に点在する建物を大切にすることで、派生的にまち全体の魅力が立ち上がってきます。修景補助制度では、建築物の公開・活用といった魅力発信についても審査の要素の一つとするなど、切り口の多様さも特徴的です。それらを共有することで、まちへの愛着を醸成する役割を担っているのではないのでしょうか。



大阪くらしの今昔館館長
増井 正哉

大阪市地域魅力創出建築物修景事業がめざすこと

まちの歴史や成り立ちを物語る建築物を、まちに根付いた資源の一つと捉え注目しています。修景補助を行う場合は、種類、デザイン、時代、立地、活用方法など多様な切り口で対象となる建築物の魅力をつかみ、審査します。外観を美しくすることで、魅力の再発見となる機会を醸成する。修景を行った建物は点在していますが、歴史を紐解くとさまざまな物語が何層にも浮かび上がってきます。イケフェス大阪などを通して、オーナーも刺激を受け、新しいつながりや活動が生まれる効果もあります。大阪市に暮らす人(住む、働く、学ぶ人)が建築物を通してまちの魅力を再発見し、愛着や誇りにつながることをめざして取り組んでいます。



大阪市都市整備局企画部
まちなみ環境担当課長
若井 富美代

建物を通してまちの
魅力を発信

大阪市の修景事業の詳しい情報はこちらから

イケフェス大阪
(生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪)

住まいに関するお悩みが 疑問はありませんか?

interview



住まい情報センター 相談員

安心して暮らすために欠かせない住まい。身近な存在ですが、契約、メンテナンス、お金のことなど「どうすればいい?」と困ってしまうことも少なくありません。そんな住まいに関するお悩みや疑問を聴き、一緒に考えてくれるのが住まい情報センターの「住まいの一般相談」(P7参照)です。さまざまな相談を受けている相談員のみなさんにお話を聞きました。



あんじゅ 編集者

Q どのような相談がありますか?

住まい手のみなさんから、さまざまな相談をお受けしています。たとえば、ひとり暮らしの高齢者の住み替え相談や、賃貸住宅退去時の原状回復におけるトラブル。その他、売買やリフォームに関するトラブル、分譲マンション管理に関することなど。コロナ禍には市営住宅の申込み方法や条件の問い合わせが増加しました。それぞれに状況や背景が異なるので、同じトラブルといっても一つ一つのご相談内容はすべて異なります。



Q 幅広い相談に
どのように対応
しているのですか?

相談員の役割は、相談者さんが次のステップに進むためのお手伝いをすることです。相談者さん自身で納得のいく選択ができるように、一緒に考え、問題を整理します。

まずは相談者さんのお話をじっくりとお聴きします。住宅の問題は複雑で、解決のための専門的な窓口も複数あり、誰に何を相談すべきかわからず不安に感じている方もおられます。何から話してよいのかわからないときでも、内容を少しずつ整理しながら、問題の本質に近づいていきます。

次のステップに進む糸口が見つかれば、情報提供や専門家相談のご案内をします。相談員はより必要な情報提供ができるよう、制度や法改正等の情報を収集しています。相談内容によっては、弁護士/ファイナンシャルプランナー/建築士/マンション管理士など、住まいの専門家相談につなげていきます。

Q 住まいのトラブルに
巻き込まれない
コツはありますか?

当事者として住まいに関心を持つことです。たとえば賃貸住宅なら、退去時の原状回復に関するトラブルが多いです。契約書を最後まで読む、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」を確認する、入居時・退去時に部屋の状態を写真で記録しておくなど、リスクを減らす方法はいくつもあります。入居中に見つけた部屋の不具合は、その時に貸主に通知することも大切です。

センターでは「住まいの基礎知識セミナー」を実施して、知識の普及に努めています。幼少期から住まいに関心を持ってもらうことを目的に、子ども向けの住教育にも取り組んでいます。成年年齢が引き下げられたので、高校生にも契約の重要性を伝えたいですね。



インタビューを終えて

「悩みを一人で抱え込まないで、まずは私たちにお話を聴かせてください」相談員さん全員に共通する想いです。窓口を訪ねてみると、落ち着いた入りやすい印象を受けました。相談員のみなさんが、安心できる雰囲気づくりを大切にされているのだそう。みなさん宅地建物取引士等の資格を取得するなど、日々勉強を重ねていると聞きました。住まいのお悩み、相談できる場所があるとわかり安心しました。



▲住教育ワークショップコーナー
子ども向けのお家づくり体験ができます。



大阪市立住まい情報センター所長
宮原 有美子

トラブルは未然に防ぐことが何よりも大切です。日頃の情報収集に、住まいの相談、セミナー、ライブラリーを是非ご活用ください。



▲住まいのいろいろ情報コーナー



▲分譲マンション管理情報コーナー
マンション管理・防災に関する情報が手にとりやすくわかりやすく分類されています。段ボールラックは相談員さんが制作。



大阪市立住まい情報センター
住まいに関するご相談



国土交通省
「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」

大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2022年

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■住まいの基礎知識 ◎住まいを購入する(全7回) 第6回 住まいの契約編「重要事項説明と契約」

- 日時:7月2日(土)13:30~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:国土交通省 近畿地方整備局、(一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

◎住まいの防災(全3回) 第1回 自然災害から家族や住まいを守る「風水害に備える」

- 日時:9月3日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:中條壯大(大阪公立大学大学院工学研究科 准教授)
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

第2回 自然災害に強い住まいをつくる「住まいの耐震」

個別相談のみ当日抽選

- 日時:9月17日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:(公社)大阪府建築士会耐震インスペクション委員会
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 個別相談あり

第3回 自然災害と損害保険「住まいに関する保険」

- 日時:9月25日(日)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:(一社)日本損害保険協会近畿支部
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

■住まいのライブラリーイベント 豪商の金融史—大阪・福岡家の商いと暮らし—

- 日時:7月30日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:高槻泰郎(神戸大学経済経営研究所・准教授)
- 定員:会場150名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- ※4階でブックトークサロン関連パネル展同時開催(〜7月30日まで)。

■住まいのワークショップ 親子の都市と建築教室2022 「うちではたらくまちをつくらう〜人生はもっと自由だ!〜」【2回連続講座】 小学生対象

- 日時:一回目:7月31日(日)13:30~15:30
二回目①:8月6日(土)10:30~16:30
二回目②:8月7日(日)10:30~16:30
- ※一回目(7月31日(日))と、二回目(①もしくは②のどちらか)にご参加ください。
- ※二回目はお昼休憩(60分)があります。会場内で昼食をおとりいただくことはできません。
- 場所:一回目(7月31日(日))オンライン
二回目(8月6日(土)、7日(日))住まい情報センター3階ホール
- 定員:40名(8月6・7日は各回20名)
- ※小学生・保護者同伴(申込多数の場合抽選)
- 参加に必要なもの:一回目(7月31日(日))通信可能なパソコン等(スマホ、タブレットも可)
- 申込締切:7月17日(日)
- ※本ワークショップはウェブサイトでのみ申込を受け付けます。
- 共催団体:(一社)日本建築学会近畿支部・(公社)大阪府建築士会

2 住まい情報センター タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです

■タイアップ+Plusセミナー 実家や親家の空き家対策

- 日時:8月20日(土)13:30~15:00
- 場所:3階ホール
- 講師:西村匡史((一社)大阪府不動産コンサルティング協会理事)ほか
- 定員:会場100名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 個別相談:定員12組(1組30分、前後半6組ずつ) 会場開催のみ(事前申込要。申込多数の場合当日抽選)
- 団体:(一社)大阪府不動産コンサルティング協会

シニアライフ予備校 【50歳からの暮らしのそなえ編】

- 日時:8月31日(水)13:00~16:30
- 場所:3階ホール
- 講師:柴本美佐代((一社)日本エルダーライフ協会代表理事)ほか
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 団体:シニアライフSOS

動画で学ぶ「住まいのセルフチェックのポイントとセルフメンテナンス」

- 日時:9月18日(日)13:30~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:増谷年彦(JSHIホームインスペクター)ほか
- 定員:会場70名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 団体:NPO法人日本ホームインスペクターズ協会 近畿エリア部会

オンラインワークショップ 「知っているようで知らない家の話」 小学生対象

- 日時:9月23日(金・祝)13:30~15:30
- 場所:オンライン開催
- 講師:講師:東松京祐((一社)大阪府宅地建物取引業協会会員・宅地建物取引士)
- 定員:30名(申込多数の場合は抽選)
- 団体:(一社)大阪府宅地建物取引業協会
- ※本ワークショップはウェブサイトでのみ申込を受け付けます。

■チャレンジタイアップセミナー 50代から始める人生を楽しむための私のケア暮らしのケア

- 日時:9月10日(土)13:00~16:30
【一部:セミナー(申込先着順)】
- 定員:会場50名オンライン100名
- 【二部:ワークショップ※参加希望者のみ】(事前申込要。定員超過した場合抽選)
- ①メイクセラピー②ハンドセラピー③ケアリングヨーガ④インテリアコーディネーター⑤ライフプラン(会場:①~⑤対応 オンライン:①~③対応)
- 定員:会場50名(①~⑤各10名) オンライン45名(①~③各15名)
- ※二部に参加希望の方は申込時にご希望の「ワークショップ番号(1つのみ)」をご記入ください。
- 場所:3階ホール
- 講師:柴本美佐代((一社)日本エルダーライフ協会代表理事)ほか
- 参加に必要なもの(二部参加者のみ):詳しくは、あんじゅネットをご覧ください。
- 申込締切:一部セミナー:定員に達し次第締切 二部ワークショップ:8月27日(土)
- 団体:(一社)日本エルダーライフ協会

3 その他 住まい関連イベント

■大阪市マンション管理支援機構 マンション管理基礎セミナー

- 日時:①7月3日(日)・②7月18日(祝・月) 両日とも10:00~12:30
③7月24日(日)10:00~10:45
- 場所:3階ホール
- 定員:150名(会場100名、オンライン50名) (申込先着順)連続受講が基本ですが、1日だけ、1講座だけの受講も可能です。

マンション管理組合交流サロン(まんかんサロン)

- 日時:7月24日(日)10:55~12:30
- 場所:3階ホール
- 定員:30名 分譲マンションにお住まいの方のみで参加いただけます。申込多数の場合は、新しく管理組合の役員になられた方、登録管理組合の方を優先して抽選します。
- 申込締切:7月11日(月)
- ※お問合せ先:大阪市マンション管理支援機構 事務局 電話(06-4801-8232)

あんじゅ読者アンケートにご協力ください。



参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F FAX:06-6354-8601
- 記入事項:イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。
- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。
- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。
- オンライン受講を希望される方はウェブサイトからお申し込みください。

【注意】
一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきかEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット
▶https://www.osaka-angenet.jp

大阪市立 住まい情報センター のご案内

相談専用電話 (06) 6242-1177

住まいに関するご相談をお受けいたします **無料** **住まいの1線相談** (随時/窓口相談・電話相談)
公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪府を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語・中国語、韓国・朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)

■住まいの専門家相談(予約制/面接相談)

ご予約は30日前からお受けしています。お申込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

専門家相談日時	内容
住まいの法律 概ね毎週土曜日(10時~13時30分)	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
住まいの資金計画 隔週土曜日(10時30分~12時)	住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
建築・リフォーム 隔週土曜日(10時~13時)	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
分譲マンション(法律) 概ね月1回日曜日(13時~16時)	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(管理一般) 概ね毎週木曜日(14時~18時)	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

■連携機関による定期相談(面接相談)

- (公社)大阪府建築士会による建築相談:
毎週日曜日13時~16時(受付は当日の12時30分~15時30分)
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。
- 近畿税理士会による税務相談(予約制):
毎週土曜日(但し、2・3月を除く)13時~16時(TEL.06-6242-1177で予約受付)

インフォメーション



〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
おおさか・あんじゅ・ネット https://www.osaka-angenet.jp/

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等、やむを得ない状況により変更になる場合がございます。※ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解・ご協力をお願いいたします。



●住まいに関するご相談をお受けいたします **無料** **住まいの1線相談** (随時/窓口相談・電話相談)
●住まいのライブラリーで図書・雑誌などを利用できます **無料**
●ホール・研修室をイベントや展示会・サークル活動・会議・研修会の場としてご利用いただけます **有料**



※新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、使用人数を変更しております。詳しくはお問い合わせください。

- ### 交通アクセス
- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
 - JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
 - お車で越越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

- ### 開館時間
- 4階 住情報プラザ(相談・ライブラリー)
平日・土曜日/9:00~19:00
日曜日・祝日/10:00~17:00
 - 3階 ホール/5階 研修室
平日・土曜日/9:00~21:00
日曜日・祝日/9:30~17:00

- ### 休館日
- 火曜日(祝日の場合は翌日)
 - 祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)
 - 年末年始(12/29~1/3)
 - ※上記のほか臨時休館する場合があります。



大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からそれぞれの制度へリンクしています。

住まい情報センター
相談専用電話

TEL:6242-1177

民間賃貸住宅等の
オーナーのみなさまへ

子育てに配慮した改修に対するリフォーム費用を補助します！
「子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業」実施中！！

主な補助要件

- 昭和56年6月1日以降に着工した建築物であること
- 住戸の専有部分の床面積が40平方メートル以上であること
- LDK化、窓や床等の断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事のいずれかを含む工事を行うこと
- 子どもの安全対策措置を実施すること など



LDK化改修前



LDK化改修後



テレワークスペースの設置

補助対象工事

a バリアフリー改修工事	e 子どもの安全対策措置
b 省エネルギー改修工事	f 防音性の向上に係る工事
c 間取りの変更に係る工事	g 防犯性の向上に係る工事
d 設備の新設・改良工事	

<補助金額> 補助対象工事費の1/3(1戸当たり最大75万円)

問合せ:都市整備局企画部住宅政策課民間住宅助成グループ【電話】6208-9228【FAX】6202-7064

大阪市 子育てリフォーム補助

検索

改修工事の条件など制度の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。



住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で 158,000 円以下、高齢者・障がい者世帯等で 259,000 円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々を対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加【例年、年3回(4月・8月・12月)】があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市内にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんく(子育て応援型)・市営すまいりんく・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター ●TEL:072-930-1090
大阪市住まい 公社管理	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	大阪府 住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
		都市再生機構 (UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪府に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 <セーフティネット住宅情報提供システム>https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪府に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 <サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム>https://www.satsuki-jutaku.jp/	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。 <あんぜん・あんしん賃貸検索システム>http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット(https://www.osaka-angenet.jp/)および大阪市ホームページでご確認ください。
※補助・助成事業の利用にあたっては申請手続きが必要です。事業によって要件や受付期限が異なりますので、詳しくは窓口にお問合せください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805 ●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	'子育てに配慮した仕様'と'子育てを支援する環境'を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪エコ住宅」として認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877 ※重点対策地区および対策地区の詳細はお問合せください。
民間老朽住宅建替支援事業	重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替え費用の一部を補助します。 隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助 対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売却で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。 狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助 対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に必要な費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
大阪市空家活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に必要な費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取り組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、その講師として一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関する一般的なアドバイスをを行います。	予約申込 住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理に課題を抱えている分譲マンションの管理の適正化を支援するため、建築士・弁護士・マンション管理士などの専門家を無料で派遣し、それぞれのマンションが抱える課題の解決に向けたアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件当たり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替えなど)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回当たり60万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局(住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232 ●FAX:6354-8601

特別展

商都大坂の豪商・加島屋

あきない町家くらし

加島屋久右衛門は江戸時代後期大坂では鴻池や住友と並んで、長者番付の頂点に挙げられた豪商でした。ただ一般的には「浪花の豪商」として加島屋はあまりなじみがない名前かもしれません。日本には古い屋号や創業家（加島屋の場合廣岡家）の名を冠した企業がたくさんありますが、名前を引き継ぐ企業がないことが、なじみのなさに関係しているようです。

加島屋が注目されるきっかけになったのは、平成二十七年（二〇一五）放送のNHK朝のテレビ小説「あさが来た」です。主人公・白岡あさの嫁ぎ先「加野屋」のモデルが加島屋、白岡あさのモデルが廣岡浅子です（注一）。浅子は、出水三井家の出身で、加島屋久右衛門家の分家・五兵衛家に嫁ぎました。幕末・維新の激動のなか、さまざま事業経営に乗り出して加島屋を立て直し、女子教育に力を注ぎ日本女子大学の設立に大きな役割を果たしました。

このドラマ放映の年、加島屋に関する大きな発見がありました。奈良県橿原市

の旧家・岡橋家で久右衛門家の古文書・生活道具と什器類が発見されたのです（注二）。これらの資料は近世・近代における経済史・経営史の研究に大きな役割をはたしています。

こうしたなか、廣岡家がその設立に深く関わった大同生命保険株式会社の創立一〇〇周年事業で、加島屋本宅の復元模型が制作されました。大阪くらしの今昔館もその監修に参加し、監修の過程での資料調査と研究成果をもとにこの特別展を実施することになりました。なお、復元模型は加島屋本宅の故地でもある大同生命保険株式会社メモリアルホール（大阪市西区土佐堀一丁目）で、創立記念日（七月十五日）にあわせて公開されます。

（注一）原作・古川智咲子（一九八八）小説「土佐堀川 女性実業家・広岡浅子の生涯」では実名で取り扱われています。
（注二）第二次大戦中、大阪に戦火が及ぶことを恐れた当時の当主・廣岡正直氏が家財を姻戚関係にあった岡橋家に疎開させたもので、その大部分は廣岡家に戻されたものの一部がそのまま残されたと伝わります。生活関連の什器類は今昔館に寄贈され、鑑賞は平成二十九年の企画展「浪花の大ひな祭り」で公開されています。

加島屋の商い

加島屋久右衛門の商いは、商都大坂と密接不可分の関係にありました。初代久右衛門は、十七世紀初頭に尼崎から大坂に出て奉公に上がり、その後、のれん分けをうけて加島屋を創業したとされています。この時期の商いの実態ははっきりしませんが、精米業を営んだとされています。江戸時代の半ば、四代目久右衛門吉信の時代になると米市場の顔役になっていくことが分かっています。

豪商への飛躍は諸大名の金融御用・大名貸を引き受け、それを拡大することに



図一 中津藩判書帳（大同生命保険株式会社蔵）

加島屋本宅は、「加島屋本宅絵図」によって具体的な間取りを知ることができます（図二）。敷地は約四〇〇坪で、本宅は北を流れる土佐堀川に面して間口をひらき、主屋は表屋造で、表棟（見世棟）と奥棟（台所棟）を玄関棟でつないでいます。奥棟の西に座敷が張り出し、敷地内には四棟の蔵もありました。表棟は基本的に商いの場で土間をほとんど上見世と下見世に分かれ、上見世の奥に土蔵があり、商いに関わる米切手などを収納したと考えられます。表棟の奥の中庭に面して、格式の高い武家など

町家 加島屋本宅の復元

特別展では中津藩の蔵米販売台帳「中津藩判書帳」（図二）、米交換の約束手形、米切手などを展示します。

豪商の地位を確立していた寛政一〇年（一七九八）四月、江戸堀一丁目に分家・五兵衛家が興され、同様の金融業を営みました。廣岡浅子が嫁いだのはこの五兵衛家です。

あんじゅバックナンバーはこちら



MESSAGE BOARD

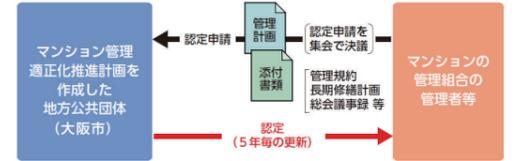
メッセージボード

分譲マンション管理計画認定制度が始まりました！

管理組合は、自らのマンションの管理組合運営や長期修繕計画など、管理計画が一定の基準を満たす場合、マンション管理適正化法に基づき、大阪市から管理計画の認定を受けることが可能となりました。

管理計画の認定を受けたマンションは、管理状況が住宅市場において適正に評価されるなどのメリットが期待されており、マンションの管理水準の維持向上にもつながります。

また、本制度の認定を受けたマンションは、(独)住宅金融支援機構において、融資時の金利引下げ等が受けられます。詳しくは、国土交通省ホームページをご覧ください。



【ホームページ】

●分譲マンション管理計画認定制度(大阪市)
<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000559518.html>



【問合せ・事前相談窓口】

大阪市 都市整備局 住宅政策グループ TEL:06-6208-9224

●改正マンション法関連情報(国土交通省)
※住宅金融支援機構による金利引下げ等については、「概要資料」をご覧ください。



https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk5_000088.html

住まいのライブラリー×大阪くらしの今昔館 特別展
ブックトークサロン 令和4年7月30日(土)に開催決定！
テーマは、「豪商の金融史—大坂・廣岡家の商いと暮らし—」



神戸大学経済経営研究所・准教授
高槻 泰郎氏

ブックトークサロンとは、大阪市立住まい情報センター4階「住まいのライブラリー」で所蔵している図書から一冊を取りあげ、図書に関係のある方にご講演いただくイベントです。

今年は、大阪くらしの今昔館の特別展との連携企画として、高槻泰郎先生の編著になる「豪商の金融史-廣岡家文書から解き明かす金融イノベーション-」の図書を取りあげます。江戸時代の廣岡家の創業から成長を遂げ豪商になるまでの歩みと、廣岡家のお屋敷や調度品、じゅう器類などについて、高槻泰郎氏(神戸

大学経済経営研究所・准教授)にご講演いただきます。講演終了後、神戸大学附属中等教育学校の学生(高校2年生)の皆さんに、4階で開催中の関連パネル展についてご紹介いただきます。

また、住まい情報センター4階では、「ブックトークサロン関連パネル展」を同時開催いたします。神戸大学附属中等教育学校の学生(当時高校1年生)が作成した、中高生向けの金融教育の教科書をパネルで紹介いたします。パネル展は自由にご覧いただけます(～7月30日まで)。

●テーマ本

書名:豪商の金融史
-廣岡家文書から解き明かす
金融イノベーション-
出版社:慶應義塾大学出版会
著者名:高槻泰郎(編著)



【問合せ】

大阪市立住まい情報センター4階・住まいのライブラリー
TEL 06-6242-1160 【休館日:火曜日】



●ブックトークサロン関連パネル展

住まい情報センター4階にて、神戸大学附属中等教育学校の学生(当時高校1年生)が作成した、中高生向けの金融教育の教科書をパネルで紹介いたします。パネル展は自由にご覧いただけます(～7月30日まで)。



住まいのライブラリー
案内犬すまいる

【詳しくは、ホームページをご覧ください。】※本紙P8参照
「豪商の金融史—大坂・廣岡家の商いと暮らし—」
<https://www.osaka-angenet.jp/event/185>
(申し込み先)



セミナー申込

脱することができました。

その後は浅子の夫・廣岡信五郎が大坂株式取引所理事職を務めるなど大坂財界に影響力を持ちました。明治二二年（一八八九）、大阪の財界人らを中心に尼崎紡績（現在のユニチカ）が創業すると、信五郎が初代社長に就任。信五郎は明治二五年の日本綿花設立発起人にも名を連ねます。

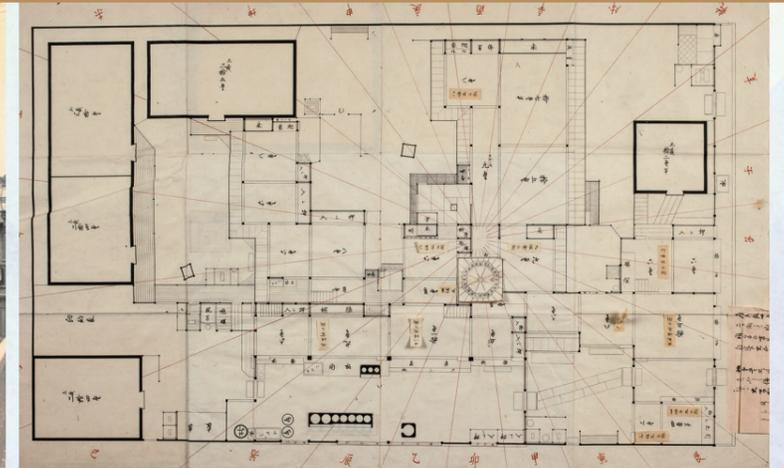
明治二二年には、加島銀行、ついで明治二八年に加島貯蓄銀行が設立され、九代目久右衛門正秋が社長になります。明治三二年、真宗生命の経営権を得て朝日生命現在の朝日生命とは異なる」と改称すると、明治三五年には、朝日、護国、北海の三社が合併して大同生命が設立されました。そして、大正十四年（一九二五）、江戸時代から加島屋本宅がおかれた土佐堀に浅子の娘婿・廣岡恵三の義弟にあたるW・M・ヴォーリズの設計による大同生命肥後橋ビル（図五）が建築されます。

特別展では、新撰組の借用書など、幕末維新の激動の時代の資料と、明治中期以降の廣岡家のくらしを伝える生活用具などを展示します。

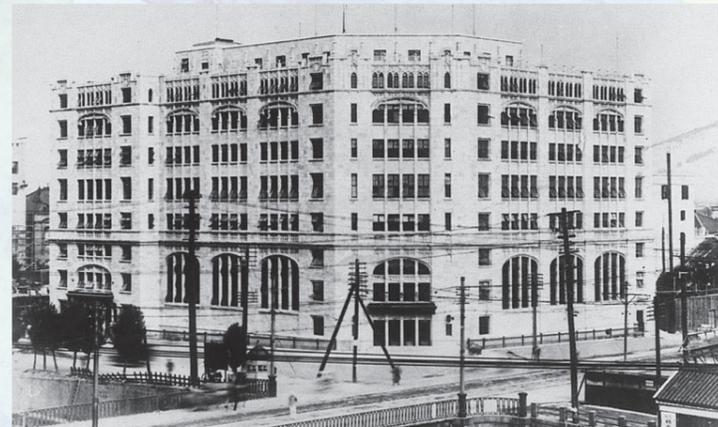
特別展を通じて近世・近代の大坂を支えた豪商の商い・町家くらしについて学び楽しんでいただければ幸いです。



図三 明治半ばの加島屋本宅(大同生命保険株式会社蔵)



図二 加島屋本宅絵図(廣岡久右衛門家指図)天保十一年作成(大同生命保険株式会社蔵)



図五 大同生命肥後橋ビル・大正十四年・ヴォーリス設計
明治大正建築写真集(国立国会図書館蔵)



図四 廣岡久右衛門家の節句飾り(大阪くらしの今昔館蔵)

大阪くらしの今昔館 催し物ガイド 2022年

特別展

商都大坂の豪商・加島屋 あきない 町家 暮らし

(みどころ)

江戸時代の大阪で有数の豪商・加島屋廣岡家。大名貸や蔵屋敷の管理を行い堂島米市場の中心的存在でした。近年新たに発見された資料の研究成果をもとに、屋敷や店構えの様子を明らかにし、江戸時代から明治・大正・昭和にかけての同家の商い・住まい・暮らしを紹介します。

- ◆会期:令和4年7月15日(金)から
令和4年9月26日(月)まで
- ◆入館料:下記を参照ください

*新型コロナウイルス感染症拡大の防止等で、会期が変更になる場合があります。
「大阪くらしの今昔館」ウェブサイト等でご確認ください。

イベント

ミュージアムクイズに挑戦! チャレンジ「オッター！」

今昔館の展示物についてのクイズに挑戦してみよう!
子どもから大人まで参加できます。
全問正解でオリジナルグッズをプレゼント!

- ◆日時:毎日(休館日を除く)10:00~16:30
- ◆参加費:無料(別途入館料必要)



旧名藩米券集(個人蔵)



を迎える式台女関が設けられました。奥棟は梁間十間の大きな建物です。居室に籠(かまど)やはしりをもうけて、奥向きの日常生活が営まれていました。この他、茶室が二室、座敷は四室ありました。座敷のうちひとつは十五畳半で、格式の高い儀礼のほか、取引先である諸藩の役人との応対に使われたものと思われまます。

茶室へは、本格的な動線がありました。通りに客門・待合を経て、露地と腰掛があり、さらに露地を進むと、畳の茶室に至ります。茶室前の井戸は太閤井戸とよばれ、現在の大同生命大阪本社ビルに移設されています。

一方、外観と細部については、当時の絵画や古写真を参考にしました。まず、弘化四年（一八四七）新板三千年袖鑿(にほんねんそでががみ)に掲載された「大坂かじ久(加島屋久右衛門)」の図が参考になりました。また撮影時期・アングルが異なる古写真が四枚見つかりました。その一枚が明治十八年（一八八五）の淀川大洪水で流失し、明治二十一年に鉄橋となった肥後橋から撮影されたもの(図三)で、本瓦と棧瓦の葺き分け、瓦の枚数など、細かい点までを確認できたほか、写真の消失点から、それぞれの建物の高さ関係を検討できました。

特別展では、「加島屋本宅絵図」をはじめとして、復元検討に用いた資料を展示します。

加島屋のくらし

加島屋本宅内には茶室が二つ構えられていましたが、代々の当主は茶道に造詣が深く、書画・浄瑠璃などもよくし、一流の文化人でもありました。書画・茶道具の名品を収集していたことも知られています。特別展では加島屋廣岡家旧蔵・松花堂昭乗「踊布袋図」(個人蔵)を展示するほか、図像が判明しているものについては可能なかぎり本宅模型座敷飾りや茶室のしつらいに反映させています。また、当主の書画も旦那芸のレベルを超えた作品もあり、六代目久右衛門正誠の軸物なども特別展に色を添えてくれます。

今昔館の館蔵品のなかからは、廣岡久右衛門家旧蔵の節句飾り(図四)などを出陳します。

加島屋の近代

大名貸金融に特化した商人として日本を代表する豪商となった加島屋ですが、明治四年（一八七二）の廃藩置県で取引相手としての藩がなくなりました。加島屋にとっての近代とは、新たな事業の模索となりまます。廣岡浅子の活躍もあって明治二十年代を迎える頃、ようやく危機を



大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館



天井改修工事の実施に伴う一部展示室等の閉鎖と臨時休館等のお知らせ

- ・現在天井改修工事の実施に伴い、令和4年9月26日まで9階常設展示室および10階展望フロアを閉鎖しています。
- ・9月27日から開館準備のため全館臨時休館いたします。
- ・再開は10月末頃を予定しています。

天井改修工事中

- ・8階常設展示室は、通常どおりご覧いただけます。
- ・9階、10階の閉鎖期間中は8階企画展示室に町家座敷を展示しています。
- ・8階の吹抜け部分に大型映像コーナー『まちなみシアター』を開設。江戸時代の大阪のまちなみと天保年間の人々のくらしを描いた動画をご覧いただけます。

開館時間

10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日

火曜日 年末年始 その他臨時休館あり

7月~9月の休館日 7/4~6. 11~14. 19. 26
8/2. 9. 16. 23. 30
9/6. 13. 20. 27~30

入館料

一般 400円/団体300円
高・大生 300円/団体200円(要学生証提示)
(天井改修工事期間中9/26までの料金です)

※団体は20名以上
※中学生以下、障がい者手帳・マイリロID等提示(介護者1名含む)、市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)

- ※8階常設展示と企画展をご覧いただけます
- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄『天神橋筋六丁目』駅下車3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
- JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m

T530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階)
TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601

*新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のため、ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。

発見 

見て 

行って 

竹と鶏

— 廣岡浅子ゆかりの美術品 —

服部 麻衣 (大阪くらしの今昔館学芸員)

NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」で注目をあびた大阪の豪商加島屋廣岡家。特にヒロインのモデルとなった廣岡浅子は炭鉱や生命保険など多くの事業をてがけ、女性実業家のさきがけともいわれました。廣岡五兵衛家に伝来した美術品や生活道具類のコレクションの中から、廣岡浅子ゆかりの品を紹介いたします。

「竹鶏図」は三面の衝立です。つがいの鶏と雛が三羽、地面をついばんでいます。背後に描かれた竹が生き生きと伸びやかな印象を受ける作品です。この絵は浅子が描かせたもので、後に浅子の娘・亀子が現在の衝立に仕立て直したと子孫の方に伝わっています。浅子は嘉永二年（一八四九）酉年の生まれで、また、「脩竹」と号した時期もあり、竹のモチーフを好んだといわれています。この絵は浅子を表す鶏と好みの竹で構成されたお気に入りの品だったと想像します。他にも竹をデザインした一輪挿しには、裏面に浅子が詠んだ和歌が彫られています。

廣岡家に伝来した品々の中には紋が配された盆や椀、そしてランプや銀製の洋食器など生活が近代化する変化を感じさせるもの、家族が蒐集したミニチュアのコレクションなど多彩な資料があります。近代の大阪の商家の生活文化を物語るたいへん貴重な文化財です。展覧会でぜひご覧ください。（展覧会情報は14ページを参照）



「一輪挿し」(個人蔵)



「夢」和歌色紙。
廣岡浅子筆。自作の歌を書いたもの。(個人蔵)



「竹鶏図」作者不詳(個人蔵)